



社会主義、 脱植民地化と その行き詰まり



主催 |  神戸大学国際文化学推進インスティテュート

共催 |  カルチュラル・スタディーズ学会

参加無料

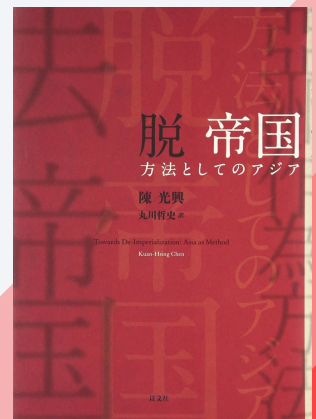
故スチュアート・ホールをして「カルチュラル・スタディーズを根底から変えた」と言わしめ、アジアのカルチュラル・スタディーズを牽引してきた陳光興を迎えるセミナー。「第3世界」の脱植民地化において重要な役割を果たしたはずの社会主義だが、その後の独裁化や軍事政権化によってその歴史的役割は顧みられなくなった。台湾の作家陳映真の作品を読み解きながら、ポストコロニアルなアジアにおける左翼の知識人たちがこの事態をどのように考えてきたのかを検証する。（英語レクチャー、Q&Aのみ通訳あり）



登壇者 | 陳光興 教授

台湾・国立交通大学社会文化研究所／萬隆書院

台湾のカルチュラル・スタディーズ研究者。アジアのリソースを主体にしてアジアの未来についてポストコロニアルな視座から探求。国立交通大学社会文化研究所教授退職後、インターアジアスクールと萬隆書院を創立。



7月8日

(土)

13:30-16:00

会場

海外移住と文化の交流センター2F

セミナールーム（対面のみ開催、会場案内は左記QRコードで）

司会

小笠原 博毅（神戸大学国際文化学研究所・教授）

問い合わせ

黄 柏瀧（Promis学術研究員）

aleksirius@hawk.kobe-u.ac.jp